

(案)

令和 6 ・ 7 年度

川崎市社会教育委員会議の活動

川崎市社会教育委員会議

令和 8 （ 2 0 2 6 ） 年 4 月

目次

令和6年度の主な協議テーマ	4
定例会関係	4
<第1回>	4
<第2回>	5
<第3回>	6
<第4回>	7
<第5回>	8
<第6回>	9
<第7回>	10
<第8回>	11
専門部会関係	12
関係会議	14
全国社会教育委員連絡協議会	14
関東甲信越静社会教育委員連絡協議会	15
指定都市社会教育主管課長会議・社会教育委員連絡協議会	15
神奈川県社会教育委員連絡協議会	15
大ホール優先申請利用調整会議	16
平和教育映像教材等連絡調整会議	17
令和7年度の主な協議テーマ	18
定例会関係	18
<第1回>	18
<第2回>	19

＜第3回＞	20
＜第4回＞	21
＜第5回＞	22
＜第6回＞	23
＜第7回＞	24
＜第8回＞	25
専門部会関係	26
関係会議	27
全国社会教育委員連絡協議会	27
関東甲信越静社会教育委員連絡協議会	28
指定都市社会教育主管課長会議・社会教育委員連絡協議会	28
神奈川県社会教育委員連絡協議会	29
大ホール優先申請利用調整会議	30
平和教育映像教材等連絡調整会議	30
その他の活動	30
社会教育施設視察	30
まとめ	31
令和6年度社会教育委員	34
令和7年度社会教育委員	35

令和6年度の主な協議テーマ

- 1 次期「かわさき教育プラン」策定に向けて
- 2 家庭教育支援の取組について
- 3 市民館・図書館の指定管理者制度導入について

定例会関係

<第1回>

日 時 令和6年6月25日（火） 午後6時30分～午後8時30分

会 場 中原市民館 多目的ホール

出席者 委員18名 傍聴7名

議 題 (1) 報告事項

- ① 社会教育委員会議の職務及び今期会議の進め方等について
- ② 川崎市幸市民館・川崎市立幸図書館改修基本計画（案）について

(2) 協議事項

- ① 各種委員の選出

主な内容

- 社会教育委員会議の役割、今期社会教育委員会議の進め方について確認を行った。
- 全国社会教育委員連合、関東甲信越社会教育委員連絡協議会、指定都市社会教育委員連絡協議会は事務局対応、神奈川県社会教育委員連絡協議会は笹井議長・井口副議長を理事として選出、大ホール優先申請利用調整会議は下田委員を選出することが決まった。
- 川崎市幸市民館・川崎市立幸図書館改修基本計画（案）について、事務局から説明があり、委員からは以下のような質問・意見があった。
 - ・ 浸水対策、避難経路、防音対策はどうなっているか。
 - ・ 社会教育という言葉をぜひ入れて認識を広めていただきたい。
 - ・ 開設時からの不易と流行ということで、変わらないものもあれば、時代に応じて変わっていくものもあるというような、そういう歴史を大事にしたうえで改修してほしい。

<第2回>

日 時 令和6年7月31日（水） 午後6時30分～午後8時40分

会 場 高津市民館 大会議室

出席者 委員16名 傍聴5名

内 容 (1) 協議事項

① 令和6年度市民自主学級・市民自主企画事業追加提案の実施について
(非公開)

② 次期教育プラン策定に関する意見聴取について

(2) 報告事項

① 市立学校を通したイベント広報の見直しについて

② 令和6年度指定都市社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会の報告について

③ 川崎市市民館条例の一部を改正する条例の制定について・川崎市川崎市民館・労働会館条例の制定について

④ 専門部会報告

主な内容

○ 令和6年度市民自主学級・市民自主企画事業追加提案について提案内容の説明があり、事業が承認された。

○ 次期教育プラン策定に関する意見聴取について、教育プランの概要や意見聴取の進め方について所管課から説明があり、委員からは以下のような質問・意見があった。

- ・ 地域のデータがエビデンスとして必要である。
- ・ 将来の予測が困難な時代に子どもたちが生きていくためには、社会を自分事としてとらえるという志や覚悟が大事になる。
- ・ 意見聴取して終わりではなく、子どもと大人が対話する場をもっと設けなければいけないと思う。
- ・ 会議体として時間を取ってやっているのだから、社会教育委員会として意見をまとめる方向で進めて欲しい。
- ・ プランを作るうえで、世の中がどうなっていて、川崎がどうなっているかという現状認識が大事。
- ・ 「つながりの中で学ぶ」という社会教育とはどうあるべきか、ということを我々は考えなければならない。

議長から、ある程度の幅で委員の意見をまとめていきたいという話があった。

また、次回、ワークショップ形式で意見を出し合うことを確認した。

○ 市立学校を通したイベント広報の見直しについて、所管課から報告があり、委員からは以下のような質問・意見があった。

- ・ チラシを配布する人が、誰に伝えたいからどういう配布方法がいいかというところが1番重要なのに、そこが抜けていると思う。
- ・ 実施に踏み切る前にどの方法が1番適切なのかという議論を慎重にするべき。

<第3回>

日 時 令和6年9月11日（水） 午後2時30分～午後4時30分

会 場 川崎市立中原図書館 多目的室

出席者 委員13名 傍聴6名

内 容 (1) 報告事項

① 平和教育映像教材等連絡調整会議への委員の派遣について

② 川崎市中原市民館及び川崎市高津市民館並びに橘分館の指定管理予定者について

(2) 協議事項

① 次期かわさき教育プラン策定に関する意見聴取について

主な内容

○ 川崎市中原市民館及び川崎市高津市民館並びに橘分館の指定管理予定者について、事務局から報告があり、委員からは以下のような質問・意見があった。

- ・ 事業者選定の決め手を教えてほしい
- ・ 選定評価委員は川崎の文化や地域性についてどのくらい知っているのか。
- ・ 地域の人の声、利用する人の声を反映できる場所をつくってほしい。
- ・ 社会教育委員の議論や意見はどのように反映されたのか。

○ 次期かわさき教育プラン策定について、ワークショップ形式で意見交換を行った。委員からは以下のような質問・意見があった。

- ・ 最近子どもたちや新米のママたちが受け身のことが多い。
- ・ 変わらないものとして「平和」と「子どもの権利」が大事。
- ・ 自分だけではなくて、子どもも含めて家族みんなでウェルビーイングの実現ができればいい。
- ・ 年齢に関係なく、チャレンジしていく、学び直していく、新しいことをやっていくことが必要。
- ・ 自分が尊重されることで他者を尊重できるようになる。他者のための行動を生み出していくような教育が必要。
- ・ 「人権の尊重」というときに優しさやおもいやりではなくて、前提として人権を守るといった感覚が重要。
- ・ 安心安全に生きていく社会が基盤にあって初めて良い意味での自己責任を取ることができる。

会議後に意見まとめを作成し、所管課に提出した。

<第4回>

日 時 令和6年10月30日（水） 午後6時30分～午後8時10分

会 場 高津市民館 大会議室

出席者 委員14名 傍聴6名

内 容 (1) 報告事項

- ① 専門部会報告
- ② 次期かわさき教育プラン策定に関する意見聴取まとめについて
- ③ 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価に関する報告書（令和5年度版）
- ④ 川崎市中原市民館及び川崎市高津市民館並びに橘分館の指定管理者の指定について・労働会館改修工事について

主な内容

- 専門部会について、所管課から説明があり、以下のような意見があった。
 - ・ 報告様式で、指定管理者が出席している部会の記載方法は統一してはどうか。
- 第3回定例会で行った次期かわさき教育プラン策定に関する意見聴取について、事務局から、まとめた意見の報告があった。
- 「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価に関する報告書（令和5年度版）」について、所管課から説明があり、委員からは以下のような質問・意見があった。
 - ・ 成果だけでなく、問題点なども挙げていかないと今後の取組の方向性につながらないのではないか。
 - ・ 橘樹官衙遺跡群関連事業への参加者数が多く、大きな成果だと思う。この企画力を持続的に進めるためにどのような方策や工夫を考えているのか聞きたい。
 - ・ 「家庭・地域の教育力を高める」の取組成果で、各中学校区におけるネットワークの活性化を担うコーディネーターの委嘱が増えたとあるが、当初の目標より丸一年遅れている状況である。目標に届いていないので、成果というよりは課題であり、なぜこうであったかを分析していく必要があるのではないか。
 - ・ 家庭教育や地域の教育力については、形になっていないものも学びになっている。計画の指標になって見えているのはほんの一部であり、見えないものを向上させるのは難しいということを認識して評価しないといけない。
 - ・ PTAによる家庭教育学級の実態が成果として挙げられているが、川崎のPTA活動の実態について聞きたい。
- 川崎市中原市民館及び川崎市高津市民館並びに橘分館の指定管理者の指定について、また、労働会館改修工事について所管課から説明があり、以下のような意見があった。
 - ・ 高津区の審査委員が4名だったのはなぜか。今後は委員が全員揃って開催してほしい。

<第5回>

日 時 令和6年11月28日（木） 午後6時30分～午後8時35分

会 場 高津市民会館 大会議室

出席者 委員13名 傍聴3名

内 容 (1) 報告事項

① 専門部会報告

② 第66回全国社会教育研究大会茨城大会報告及び令和7年度第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について

③ 令和6年度平和教育映像教材等連絡調整会議報告

④ 新宮前市民館・図書館の進捗状況について

(2) 協議事項

① 家庭教育支援の取組について

主な内容

- 専門部会報告について、事務局から説明があった。
- 全国社会教育研究大会について、事務局から報告があった。
- 平和教育映像教材等連絡調整会議について、下田委員から報告があった。
- 新宮前市民館・図書館の進捗状況について所管課から説明があり、以下のような質問があった。

- ・ 今の場所にある市民館、図書館の利用者や、そこで活動している方の声を聞くような懇談会のような場があるとよいと思うが、考えていることがあれば聞きたい。

- 家庭教育支援の取組について所管課から説明があり、以下のような質問・意見があった。
 - ・ 家庭教育の法的な位置づけに「こども基本法」が触れられていないのはなぜか。
 - ・ 核家族化について世帯数で示されているが、核家族世帯の割合を見る必要がある。
 - ・ 家庭教育学級の参加者数がコロナ以前まで回復していないことについて、今後を見定めるために参加者数の内訳や PTA の現状等をしっかりと知っておく必要がある。

地域で家庭教育に関する活動をしている委員から、活動を通じて感じることや、課題等について話があった。

- ・ 共働き世帯が多く、時間の貧困（余裕の無さ）を感じる。
- ・ 子どもと一緒に食事することの教育的意味は多い。
- ・ 地域ごとに抱えている課題は異なるので、家庭教育学級が、各学校の特徴を活かし、地域団体とのつながりを活かした学習の場となればよいと考える。
- ・ 大人の学びへの危機感を持っている。家庭教育だけでなく、地域社会、社会教育を充実させることが現代の課題
- ・ 親子ともにゆとりの無さを感じる。それが学びへの抵抗感につながる人もいる。家庭教育を型にはめずに「そのままでいいよ」と受容して自信を与えるということも大切。子どもが健やかに安定して育つためには保護者の心がしっかりと安定していなければならないと思うので、そのような学習内容があるとよい。

<第6回>

日 時 令和6年12月20日（金） 午後6時30分～午後8時30分

会 場 高津市民館 大会議室

出席者 委員15名 傍聴6名

内 容 (1) 報告事項

① 次期かわさき教育プラン策定に向けたアンケート結果等について

(2) 協議事項

① 家庭教育支援の取組について

主な内容

- 次期かわさき教育プラン策定に向けたアンケート結果等について、所管課から報告があり、次のような質問・意見があった。
 - ・ 児童生徒のアンケートで、グローバル教育の拡充に期待するとあるが、子どもたちにどのような大人になりたいかという設問では「世界的に活躍できる人」と答えた割合が低い。大きな夢を持って世界で活躍することを目指す子どもたちを育てる教育が必要であると感じた。
 - ・ 基本理念・基本目標は、今後メッセージ性のある形でまとめるとのことだが、単なる広告の言葉のようにならないように。
 - ・ 社会教育という言葉が浸透していない。設問に「地域の子育て」とあるが教育が抜けている。教育や学習というのは知識の伝達だけでないということも入れてほしい。
 - ・ 川崎市がこれまで大事にしてきた価値観（人権、多様性）を活かしてほしい。
- 家庭教育支援の取組について所管課から説明があった。また、地域で家庭教育に関する活動をしている委員から、活動を通じて感じることや、課題等について話があった。
 - ・ コロナを経て今の課題として、子育て家庭がつながらずそれぞれに子育てをしていること、保護者が子どもと過ごす時間が不足していること、子どもの気持ちを受け止めてくれる場面が不足していることがあると思う。
 - ・ 数十年前と比べて大きく変わった点は、ほぼ全員がスマホを所持するようになったこと。校内でのトラブルも SNS を原因としたものが多い。スマホでのトラブルが起きた時、保護者が自分の子どもに指導できないといったケースもある。
 - ・ 各校の PTA 活動もコロナ禍以降大変大きく変わったように思う。また、地域行事への生徒の参加についても、子どもたちは忙しくて時間がないことがある。
 - ・ 家庭教育、学校教育における社会と連携したキャリア教育が必要だと思う。
 - ・ どんな支援が必要か議論する前に、取り組むべき課題を明確にしなければならない。
 - ・ 文科省が打ち出す家庭教育支援における訪問型アウトリーチ支援事業について、どう考えているか。
 - ・ 学校教育と家庭教育のはざままで親が一番困っているであろう不登校の子どもたちへの取組をどうにかしないといけないと思う。

<第7回>

日 時 令和7年2月27日（木） 午後6時30分～午後8時30分

会 場 高津市民館 大会議室

出席者 委員15名 傍聴2名

内 容 (1) 報告事項

① 今後の自然教室の方向性等について

② 専門部会報告

(2) 協議事項

① 令和7年度市民自主学級・市民自主企画事業の実施について（非公開）

② 令和7年度生涯学習推進活動方針（案）について

③ 令和6年度社会教育委員会議の活動報告（案）について

主な内容

- 今後の自然教室の方向性等について、所管課から報告があり、以下のような質問・意見があった。
全校他施設との結論になったとしても、しばらくは八ヶ岳少年自然の家を使うであろうから、施設点検や必要な補修工事などは、早めに行うことを検討した方がいい。
 - ・ 様々な分野の専門家に意見を聞いてほしい。
 - ・ バスの運転手不足については、他施設を活用した場合も同じことが考えられるが、既に他施設で実施した自然教室の入札状況はどうだったか。
 - ・ 実施手法など、実務的なことだけでなく、そもそも自然教室を何のために行っているのか、教育的意義が大事である。
- 専門部会報告について、事務局から説明があった。
- 令和7年度市民自主学級・市民自主企画事業の実施について、各市民館長から提案状況等の説明があり、全ての事業について承認された。なお、主に次のような質問・意見があった。
 - ・ 講師について、現時点ではどの程度想定しているのか。
 - ・ 選考の結果、否になった団体に対するサポートはどのように行っているか。
 - ・ 市民ならではの企画が出てくるようにフォーマットを検討する必要があると思う。
 - ・ 市民だからこそできる発想や取組を促して、サポートできるような形でやっていければいいと思う。
- 令和7年度生涯学習推進活動方針（案）の概要及び次回の定例会で意見を伺うことについて、所管課から説明があった。
- 令和6年度社会教育委員会議の活動報告（案）の概要及び次回の定例会で意見を伺うことについて、所管課から説明があった。

<第8回>

日 時 令和7年3月27日（金） 午後6時30分～午後8時30分

会 場 高津市民館 大会議室

出席者 委員15名 傍聴3人

内 容 (1) 協議事項

- ① 令和7年度社会教育関係団体への補助金交付について
- ② 大ホール優先申請利用調整会議委員の選出について
- ③ 令和7年度生涯学習推進活動方針（案）について
- ④ 令和6年度社会教育委員会議の活動報告（案）について

(2) 報告事項

- ① 専門部会報告

主な内容

- 令和7年度社会教育関係団体への補助金交付について、所管課から説明があった。また、各団体の所管課からの説明の後、各団体所属の委員から、団体の活動について説明があり、全ての補助金交付について承認された。なお、次のような質問・意見があった。
 - ・ 青少年育成団体の活動について、外国にルーツがある子どもたちに情報を届けることが大事だと思う。
 - ・ どの団体も昨年とほぼ同額の補助金額だが、団体から増額の要望は出されていないのか。
- 大ホール優先申請利用調整会議は、下田委員を選出することが決まった。
- 令和7年度生涯学習活動方針（案）について、事務局から説明があり、以下のような質問・意見があった。
 - ・ 寺子屋における学習支援の充実、コーディネーターの育成についてどう考えているか。
 - ・ 地域にこだわらず、コーディネーターの交流があると良いのではないか。
 - ・ ICTを活用するだけでなく、リテラシーを身につけることが重要である。
- 令和6年度社会教育委員会議の活動報告（案）について、事務局から説明があった。
- 専門部会報告について、事務局から説明があった。
- その他について、以下のような質問・意見があった。
 - ・ 指定管理者制度導入前の状況報告をしてほしい。
 - ・ 指定管理者の職員の教育は市が主体となって行うのか。
 - ・ 職員の研修において、社会教育委員の学識経験が反映されることが望ましい。
 - ・ 行政職員と民間事業者の職員が仕事を通してお互いに学んで成長していくことで、最終的に市民のメリットにつながれば良いと感じる。

専門部会関係

専門部会名	開催日程	主な審議内容
教育文化会館専門部会	令和6年6月21日、9月20日、12月10日、令和7年2月16日	・社会教育振興事業について ・市制100周年記念事業について ・市民館貸館における飲食について ・協議テーマについて ・市民自主学級・市民自主企画事業について
幸市民館専門部会	令和6年6月24日、9月25日、12月23日、令和7年2月16日	・川崎市幸市民館・川崎市幸図書館改修基本計画（案）の策定について ・管理運営実施状況及び社会教育振興事業について ・調査・審議事項について ・市民自主学級・市民自主企画事業について
中原市民館専門部会	令和6年7月26日、10月1日、12月20日、令和7年2月15日	・市民館の管理運営及び社会教育振興事業について ・市民館の指定管理業務移行に係る手続き等の進捗状況について ・中原市民館 EXPO2024 の開催結果について ・令和6・7年度の調査審議について ・市民自主学級・市民自主企画事業について
高津市民館専門部会	令和6年6月27日、10月2日、12月4日、令和7年2月15日	・施設及び事業計画について ・指定管理者制度について ・市制100周年記念事業について ・市民自主学級・市民自主企画事業について

宮前市民館専門部会	令和6年6月28日、9月24日、12月13日、令和7年2月16日	・市民館・分館の管理運営及び社会教育振興事業について ・今期の研究課題について ・市民自主学級・市民自主企画事業について
多摩市民館専門部会	令和6年6月28日、9月27日、12月13日、令和7年2月16日	・社会教育振興事業について ・施設の維持管理について ・今期の専門部会について ・調査・審議事項について ・市民自主学級・市民自主企画事業について
麻生市民館専門部会	令和6年7月31日、10月8日、12月10日、令和7年2月15日	・令和5年度利用状況及び事業報告について ・主な事業について ・令和6・7年度協議テーマの選定について ・市民自主学級・市民自主企画事業について
図書館専門部会	令和6年7月9日、9月27日、12月13日、令和7年2月28日	・図書館の現状について ・かわさき電子図書館の本格実施について ・読書普及講演会・市制100周年記念事業について ・専門部会について ・今期の研究テーマについて
青少年科学館専門部会	令和6年6月28日、11月13日、12月5日～20日の間に事業視察、令和7年3月24日	・令和6年度予算・事業計画について ・今後の専門部会開催について ・令和6年度事業実施中間報告 ・自然分野の収蔵資料の整理状況とその進め方について ・青少年科学館視察等 ・令和6年度事業評価について
日本民家園専門部会	令和6年5月26日、7月21日、12月19日、令和7年3月16日	・博物館の事業評価について ・事業計画について ・園内視察

有馬・野川生涯学習支援 施設専門部会	令和6年7月29日、11 月1日、令和7年3月6日	・令和5年度事業等の報告及び 所管課評価について ・令和6年度事業計画について ・令和6年度管理運営業務等の 実施状況報告について ・令和7年度事業計画案につい て
青少年教育施設専門部会	令和6年11月26日、令 和7年2月5日	・令和6年度事業進捗状況及び 令和7年度事業計画案について ・今後の自然教室の方向性等 (中間報告)について

関係会議

全国社会教育委員連絡協議会

会議名	日程	会場	内容
第1回総会	令和6年5月31日（金）	日本弘道会ビル	令和5年度事業報告・決算 報告、第66回全国社会教 育研究大会（茨城大会）につ いて 他
第66回全 国社会教育 研究大会茨 城大会	令和6年10月23日（水） ～25日（金）	茨城県水戸生涯学 習センター（1日 目）、水戸市民会館 （2日目・3日目）	彰往考来～人をつくり 人 をつなぎ 地域をつくる 未来の社会教育～ 全体会、分科会 他
第2回総会	令和6年10月24日（木）	水戸市民会館	第67回全国社会教育研究 大会（岩手大会）、第68回 全国社会教育研究大会（大 阪大会）について 他
第3回総会	令和7年2月21日（金）	日本弘道会ビル	令和7年度事業計画・予算 （案）、第67回全国社会教 育研究大会（岩手大会）につ いて 他

関東甲信越静社会教育委員連絡協議会

会議名	日程	会場	内容
第1回 理事会	令和6年6月7日（金）	日本弘道会ビル	第55回茨城大会、第56回神奈川大会について 他
第55回関東 甲信越静社会 教育研究大会 茨城大会	令和6年10月23日 （水）～25日（金） ※第66回全国社会教育 研究大会と兼ねて開催	茨城県水戸生涯学習 センター	彰往考来～人をつくり 人 をつなぎ 地域をつくる 未来の社会教育～ 全体会、分科会 他
第2回 理事会	令和7年2月28日 （金）	日本弘道会ビル	第55回茨城大会の報告、 第56回神奈川大会につい て 他

指定都市社会教育主管課長会議・社会教育委員連絡協議会

会議名	日程	会場	内容
指定都市社会教育主 管課長会議・指定都 市社会教育委員連絡 協議会	令和6年7月5日 （金）	Zoom 開催	各都市提案議題につ いて ほか

神奈川県社会教育委員連絡協議会

会議名	日程	会場	内容
第1回理事会	令和6年5月13日 （月）	県総合教育センター	令和5年度実施事業 報告・会計報告、令 和6年度事業計画 （案）・予算（案）に ついて ほか
第1回総会	令和6年6月10日 （月）	県総合教育センター	令和5年度実施事業 報告・収支決算書報 告、令和6年度事業 計画（案）・収支予算 書（案） ほか
研修会	令和6年9月2日 （月）	Zoom 開催 ※台風10号の影響 によりオンデマンド	講演「地域の教育力 向上のために社会教 育委員ができるこ

		形式による動画視聴 に変更	と」
第2回理事会	令和6年10月7日 (月)	県総合教育センター	令和6年度実施事業、令和6年度地区研究会について 他
地区研究会(海老名市)	令和6年11月2日 (土)	海老名市文化会館	子どもと大人が共に育つ社会の構築を目指して
地区研究会(大磯町)	令和7年2月4日 (火)	大磯プリンスホテル	大磯町第三次生涯学習推進計画の展開～心豊かなひとづくり、まちづくりのために～
第3回理事会	令和7年3月18日 (火)	県総合教育センター	令和6年度事業報告・中間決算報告、令和7年度事業計画(案)・予算(案)、令和7年度第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について

大ホール優先申請利用調整会議

委 員 下田委員

内 容 市民館大ホール及び併せて使用する貸室の優先確保を希望する団体の事業内容を審査

回 数	日 程	場 所
第1回	令和6年4月24日(水)	高津市民館
第2回	令和6年7月25日(木)	高津市民館
第3回	令和6年10月23日(水)	中原市民館
第4回	令和7年1月23日(木)	中原市民館

平和教育映像教材等連絡調整会議

委 員 下田委員

日 程 令和6年11月15日（金）

会 場 川崎市総合教育センター

内 容 平和教育映像教材等の視聴、感想・意見聴取

令和7年度の主な協議テーマ

- 1 次期教育プラン策定に向けて
- 2 市民館・図書館の指定管理者制度導入について

定例会関係

<第1回>

日 時 令和7年6月26日（木） 午後6時30分～午後8時30分

会 場 中原市民館 多目的ホール

出席者 委員13名 傍聴5名

内 容 (1) 報告事項

- ① 社会教育委員の職務及び会議の進め方等について
- ② 次期かわさき教育プランに向けた考え方について
- ③ 労働会館改修工事及び教育文化会館解体工事について、新宮前市民館・図書館の検討状況について
- ④ 専門部会報告

(2) 協議事項

- ① 各種委員の選出等について

主な内容

- 社会教育委員会議の役割、今期社会教育委員会議の進め方について確認を行った。調査研究を計画的に実施し、指定管理の実態把握と改善に活かす提案が複数の委員から出た。
- 次期かわさき教育プランに向けた考え方について、事務局から報告がなされた。生涯学習との概念整理、社会教育の理念の扱いについて意見が多数あった。アンケート設計の課題（校種別データが取れない等）について意見が出た。
- 労働会館改修工事及び教育文化会館解体工事について、新宮前市民館・図書館の検討状況について、事務局から報告がなされた。新宮前は災害時の動線や、図書館が上階にあることへの懸念が指摘された。また、幸市民館の改修期間中の代替施設確保について質問・要望が出た。
- 専門部会について、事務局から説明がなされた。一部の報告書が不十分（「～について」だけで内容がない）との指摘があった。
- その他において、全国社会教育委員連合、関東甲信越社会教育委員連絡協議会、指定都市社会教育委員連絡協議会は、事務局対応、神奈川県社会教育委員連絡協議会は笹井議長・井口副議長を理事として選出することが決まった。

<第2回>

日 時 令和7年7月23日（水） 午後6時30分～午後8時20分

会 場 中原市民館 多目的ホール

出席者 委員13名 傍聴3名

内 容 (1) 報告事項

- ① 指定管理施設の事業方針や取組について（高津市民館・橘分館）
- ② 指定管理施設の事業方針や取組について（中原市民館）
- ③ 専門部会報告

主な内容

- 指定管理施設の事業方針や取組について、高津市民館・橘分館指定管理者から説明がなされた。
委員からは以下のような意見があった。
 - ・教育委員会と連携を取られているのであれば、位置づけを描いてほしい。
 - ・利用率の目標値をお聞きしたい。
 - ・参加しやすい講座とは具体的にどういう定義なのかお聞きしたい。
- 指定管理施設の事業方針や取組について、中原市民館指定管理者から説明がなされた。
委員からは以下のような意見があった。
 - ・稼働率についての考え方についてお聞きしたい。
 - ・市民館の知名度について、今後もっと広めていってほしい。
 - ・組織、運営体制についてや利用者懇談会について具体的に説明してほしい。
- 専門部会について、事務局から説明がなされた。
- その他において、高津市民館大ホールは令和10年3月まで工事で使用不可との説明がなされた。

<第3回>

日 時 令和7年8月29日（金） 午後6時30分～午後8時30分

会 場 高津市民館 大会議室

出席者 委員13名 傍聴7名

内 容 (1) 報告事項

- ① 平和教育映像教材等連絡調整会議への委員の派遣について
- ② 川崎市多摩市民館、川崎市麻生市民館、川崎市麻生市民館岡上分館、川崎市立麻生図書館及び川崎市立麻生図書館柿生分館の指定管理予定者について
- ③ 次期教育プラン策定に向けたキーププロジェクトの検討について
- ④ 専門部会報告

主な内容

- 平和教育映像教材等連絡調整会議への委員推薦について、下田委員を推薦することとした。
- 川崎市多摩市民館、川崎市麻生市民館、川崎市麻生市民館岡上分館、川崎市立麻生図書館及び川崎市立麻生図書館柿生分館の指定管理予定者について、事務局から説明がなされた。
委員からは以下のような意見があった。
 - ・ 1者応募だと市民から「仕方なく選んだ」と見られないか。
 - ・ 採点基準が大手有利になっているように感じてしまう。
 - ・ 熱意なども評価に反映するべきでは。
- 次期教育プラン策定に向けたキーププロジェクトの検討について、事務局から説明がなされた。
委員から以下のような意見があった。
 - ・ 子どもだけでなく大人も学びを得られることが必要なので加えて欲しい。
 - ・ AIを活用し自分自身で学ぶことなどデジタル時代の視点が必要ではないか。
 - ・ アンケート結果（夢や希望の肯定回答率）を丁寧に分析すべき。
 - ・ 子育て世代の転出超過（新聞記事）を見ていく必要があるのではないか。
 - ・ 「個性」よりも人権を大切にすると明記すべき。
 - ・ 文化団体との連携を事業に明確に位置づけるべき。
- 専門部会について、事務局から説明がなされた。
- その他において、市民館の閉館時間を「21時→22時」へ延長してほしいとの要望・意見があった。

<第4回>

日 時 令和7年10月29日(水) 午後6時30分～午後8時30分

会 場 高津市民館 大会議室

出席者 委員15名 傍聴5名

内 容 (1) 報告事項

- ① 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価に関する報告書(令和6年度版)
- ② 指定管理者の決定に関する報告(多摩市民館、麻生市民館、岡上分館、麻生図書館、柿生分館)
- ③ 専門部会報告

主な内容

- 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価に関する報告書(令和6年度版)について、事務局及び所管課から説明がなされた。

委員からは以下のような意見があった。

寺子屋について

- ・小学校は理念通りだが、中学校は試験前の学習補習するような場になっているとの指摘。
- ・コーディネーター間の摩擦や、特定の団体に偏っているとの指摘。
- ・運営体制を地域にもっとオープンにすればもっと開けた寺子屋になるのでは。

民家園について

- ・若年層へのアピール不足の指摘。
- ・大学との連携や SNS 強化を求める

コミュニティスクールについて

- ・令和6年度はまだ過渡期で、成果の記述は一つ一つ具体的に書くべきとの意見。
- ・地域教育会議の役割が文章から読み取りにくいとの意見。
- ・より地域連携を求めるタイミングのため、現実に即した内容にしてほしい。

- 指定管理者の決定に関する報告(多摩市民館、麻生市民館、岡上分館、麻生図書館、柿生分館)について、事務局から説明がなされた。

委員からの意見

- ・基準点(全体6割)だけでなく、各項目にも最低点を設けるべきではとの意見。
- ・事業の継続性という観点は特に重要。

- 専門部会報告について、事務局から説明がなされた。

委員から以下の意見があった。

- ・市民館での飲食について、可能になったのか。
- ・イベントチラシの配布について、配架してほしい。

- その他において、指定管理施設の視察先の検討についてアンケート結果の報告。

<第5回>

日 時 令和7年11月26日（金） 午後6時30分～午後8時30分

会 場 高津市民館 大会議室

出席者 委員12名 傍聴5名

内 容 (1) 報告事項

- ① 第3次川崎市教育振興基本計画 かわさき教育プラン第1期実施計画（素案）について
- ② 今後の自然教室及び八ヶ岳少年自然の家の方角性（案）について
- ③ 史跡橘樹官衙遺跡群 第2期保存活用計画（素案）・第2期整備基本計画（素案）の策定について
- ④ 川崎市立労働会館改修工事等について
- ⑤ 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会報告
- ⑥ 専門部会報告

主な内容

- 第3次川崎市教育振興基本計画 かわさき教育プラン第1期実施計画（素案）について、事務局から説明がなされた。
委員からの主な意見
 - ・価値観の表現が抽象的で分かりにくいとの指摘があった。
 - ・人権尊重・多文化共生の施策と、概要版に示された取組の内容の結びつきがわかりづらい。
- 今後の自然教室及び八ヶ岳少年自然の家の方角性（案）について、所管課から説明がなされた。
委員からの主な意見・要望
 - ・青少年育成加盟団体からの評価は高く、代替策を丁寧に検討してほしいとの意見。
 - ・安全性（レッドゾーン）をもう少し明確に示してほしいとの意見。
- 史跡橘樹官衙遺跡群 第2期保存活用計画（素案）・第2期整備基本計画（素案）の策定について、所管課から、説明がなされた。
- 川崎市立労働会館改修工事等について、事務局から説明がなされた。
委員からの主な意見
 - ・貴重な労働資料が安易に廃棄されないよう慎重な扱いを求める。
 - ・労働資料についてコンセプトに基づく除籍基準の説明が欲しい。
- 第56回関東甲信越静社会教育研究大会 神奈川大会報告について、事務局から報告
- 専門部会報告について、事務局から説明がなされた。
- その他において、事務局から指定管理施設の視察について連絡。また、下田委員から、平和教育映像教材選定委員会の状況報告がなされた。

<第6回>

日 時 令和7年12月22日（月） 午後6時30分～午後7時40分

会 場 川崎市生涯学習プラザ 401大会議室

出席者 委員14名 傍聴4名

内 容 (1) 報告事項

- ① 令和8年度川崎市生涯学習推進活動方針（案）の作成について
- ② 多摩市民館、麻生市民館等における指定管理者制度の導入に伴う利用者説明会について
- ③ 専門部会報告

主な内容

- 令和8年度川崎市生涯学習推進活動方針（案）の作成について、事務局から説明がなされた。委員からは、朝の居場所づくりに関する意見が多数出た。

主な意見

- ・川崎市内の学校で、今、子どもたちの朝の登校はどんな状況になっているのか。
- ・地域人材の活用、専門性確保、事故発生時の問題などについて補足説明が欲しい。
- ・行政主導ではなく、地域協働で行っていくことが必要では。
- ・児童の登校実態が学校現場から報告され、ニーズの高さを確認した。
- ・時間を過ごす場所、居場所だけの機能に終わらない取組をしている地域を見つけ紹介してほしい。

- 多摩市民館、麻生市民館等における指定管理者制度の導入に伴う利用者説明会について、事務局から説明がなされた。

主な意見

- ・利用者懇談会の「やり方・参加者数・意見反映方法」が課題との指摘があった。
- ・指定管理者と市職員の「窓口対応の違い・距離感」について意見があった。
- ・麻生図書館の開館延長について、今後事業者によって市内で市民サービスの水準が変わってきてしまうというようなことがないのか懸念。

- 専門部会報告について、事務局から説明がなされた。

- その他において、以下のような意見・質問があった。

- ・図書館の指定管理化による市職員の配置・異動について質問があった。
- ・社会教育委員会の役割・意見反映の仕組み強化を求める意見
- ・朝の居場所づくりについて、拙速な開始を避けるべきとの意見

<第7回>

日 時 令和8年2月25日（水） 午後6時30分～午後8時40分

会 場 高津市民館 大会議室

出席者 委員14名 傍聴6名

内 容 (1) 協議事項

- ① 令和8年度市民自主学級・市民自主企画事業の実施について
- ② 令和8年度生涯学習推進活動方針（案）について
- ③ 令和6・7年度社会教育委員会議の活動報告（案）について

(2) 報告事項

- ① 幸市民館・図書館改修工事について
- ② 専門部会報告
- ③ 視察報告

主な内容

- 令和8年度市民自主学級・市民自主企画事業の実施について、各市民館長から提案状況等の説明があり、全ての事業について承認された。なお、主に次のような質問・意見があった。
 - ・専門部会での審議については、提案者への質疑応答が行われているおり、丁寧に選考されていることが分かった。
 - ・資料について、事業内容にスペースがあるので、学習内容や参加対象など、もう少し情報量を充実させたらよい。
 - ・「デモクラシーフィットネス」という用語が使用されている事業については、事業内容がわかりにくいことから、広報の工夫を行うこと。
- 令和8年度生涯学習推進活動方針（案）の概要及び次回の定例会で意見を伺うことについて、所管課から説明があった。
- 令和6・7年度社会教育委員会議の活動報告（案）の概要及び次回の定例会で意見を伺うことについて、所管課から説明があった。
- 専門部会報告について、事務局から説明がなされた。
- 視察報告について、事務局から説明がなされた。また、視察に参加した委員からも、感想や視察先の紹介等が伝えられた。

<第8回>

日 時 令和8年3月23日（月） 午後6時30分～午後8時30分

会 場 中原市民館 多目的ホール

出席者 委員名 傍聴名

内 容 (1) 報告事項

①

②

③

(2) 協議事項

①

②

③

主な内容

専門部会関係

専門部会名	開催日程	主な審議内容
教育文化会館専門部会	令和7年6月24日、9月9日、12月16日、令和8年2月15日	・市民館のあり方について ・社会教育振興事業について ・市民自主学級・市民自主企画事業について
幸市民館専門部会	令和7年6月23日、10月7日、12月19日、令和8年2月15日	・管理運営実施状況について ・社会教育振興事業について ・市民自主学級・市民自主企画事業について
中原市民館専門部会	令和7年6月23日、10月3日、12月16日、令和8年2月14日	・令和7年度の調査審議について ・市民館だよりのリニューアルについて ・川崎市社会教育委員会議規則別表（第6条関係）に掲げる所掌事務の効果的な進め方について
高津市民館専門部会	令和7年7月2日、10月24日、12月12日、令和8年2月14日	・高津市民館・橘分館の施設について ・令和7年度事業計画について ・令和7年度高津市民館・橘分館事業について
宮前市民館専門部会	令和7年6月25日、9月24日、12月9日、令和8年2月15日	・今期の研究課題について ・社会振興事業について ・市民自主学級・市民自主企画事業について
有馬・野川生涯学習支援施設専門部会	令和7年7月17日、11月6日、令和8年3月3日	・令和7年度事業計画について ・令和6年度所管課評価について ・令和7年度上半期 管理運営業務報告について ・令和7年度上半期 利用実績・事業・収支報告について
多摩市民館専門部会	令和7年6月5日、9月9日、12月12日、令和8年2月22日	・各種事業について ・「市民に行き届く広報」「指定管理者制度の導入」について ・市民自主学級・市民自主企画事業について

麻生市民館専門部会	令和7年5月21日、8月27日、12月4日、令和8年2月15日	・令和7年度の主な事業・工事予定について ・市民館だよりの内容及びホームページの活用について ・社会教育振興事業のPDCAについて
図書館専門部会	令和7年7月8日、10月7日、12月12日、令和8年2月27日	・川崎市立図書館の現状等について ・「学校・地域・関連施設それぞれにおける読書サービスを考える2」 ・研究活動報告書作成について
青少年科学館専門部会	令和7年7月9日、11月5日、12月5日、令和8年3月17日	・令和7年度予算・事業計画について ・令和7年度青少年科学館事業実施中間報告について
日本民家園専門部会	令和7年5月25日、8月3日、12月14日、令和8年3月20日	・博物館の事業評価について ・令和7年度日本民家園事業評価シートについて ・令和8年度日本民家園事業評価シートについて
青少年教育施設専門部会	令和7年11月26日、2月13日	・令和7年度事業進捗状況について ・今後の自然教室及び八ヶ岳少年自然の家の方角性について

関係会議

全国社会教育委員連絡協議会

会議名	日程	会場	内容
第1回総会	令和7年5月23日（金）	日本弘道会ビル	令和6年度事業報告・決算報告、第67回全国社会教育研究大会

			(岩手大会) について 他
第 6 7 回全 国社会教育 研究大会岩 手大会	令和 7 年 1 0 月 2 9 日 (水) ～ 3 1 日 (金)	アイーナ (いわて 県民情報交流セン ター) 他	全体会、分科会 他
第 2 回総会	令和 7 年 1 0 月 3 0 日 (木)	アイーナ (いわて 県民情報交流セン ター)	第 6 8 回全国社会教育 研究大会 (大阪大会)、 第 6 9 回全国社会教育 研究大会 (愛知大会) に ついて 他
第 3 回総会	令和 8 年 2 月 2 0 日 (金)	日本弘道会ビル	令和 8 年度事業計画 (案)・収支予算 (案)、 第 6 8 回全国社会教育 研究大会 (大阪大会) に ついて 他

関東甲信越静社会教育委員連絡協議会

会議名	日程	会場	内容
第 1 回 理事会	令和 7 年 6 月 6 日 (金)	日本弘道会ビル	第 5 6 回神奈川大会、 第 5 7 回群馬大会、 第 5 8 回千葉大会につ いて 他
第 5 6 回関東 甲信越静社会 教育研究大会 神奈川大会	令和 7 年 1 1 月 2 0 日 (木) ～ 2 1 日 (金)	関内ホール 他	全体会、分科会 他
第 2 回 理事会	令和 8 年 2 月 2 7 日 (金)	日本弘道会ビル	第 5 6 回神奈川大会の 報告、第 5 7 回群馬大 会、第 5 8 回千葉大会 について 他

指定都市社会教育主管課長会議・社会教育委員連絡協議会

会議名	日程	会場	内容
指定都市社会教育主 管課長会議及び社会	令和 7 年 1 1 月 1 2 日 (水)	WE B 会議	各都市提案協議題に ついて、指定都市社

教育委員連絡協議会			会教育関係各種協議会の開催について他
-----------	--	--	--------------------

神奈川県社会教育委員連絡協議会

会議名	日程	会場	内容
第1回理事会	令和7年5月12日 (月)	かながわ県民センター	令和6年度実施事業報告・会計報告、令和7年度事業計画(案)・予算(案)について他
総会	令和7年6月9日 (月)	かながわ県民センター	令和6年度実施事業報告・会計報告、令和7年度事業計画(案)・予算(案) 他
研修会	令和7年9月1日 (月)	県総合教育センター	事例発表
第2回理事会	令和7年12月8日 (月)	県総合教育センター	令和7年度実施事業、令和8年度地区研究会について、第56回神奈川大会について他
地区研究会	関ブロ神奈川大会開催年度のため開催なし		
第3回理事会	令和7年3月9日 (月)	県総合教育センター	令和7年度実施事業について、令和8年度事業計画(案)・予算(案)、令和7年度社会教育委員に関する調査について 他

大ホール優先申請利用調整会議

委 員 下田委員

内 容 市民館大ホール及び併せて使用する貸室の優先確保を希望する団体の事業内容を審査

回 数	日 程	場 所
第 1 回	令和 7 年 4 月 2 5 日（金）	中原市民館
第 2 回	令和 7 年 7 月 2 3 日（水）	中原市民館
第 3 回	令和 7 年 1 0 月 2 3 日（木）	高津市民館
第 4 回	令和 8 年 1 月 2 8 日（水）	中原市民館

平和教育映像教材等連絡調整会議

委 員 下田委員

日 程 令和 7 年 1 1 月 1 4 日（金）

会 場 川崎市総合教育センター

内 容 平和教育映像教材等の視聴、感想・意見聴取

その他の活動

社会教育施設視察

参加委員 笹井委員、井口委員、下田委員、河野委員、和田委員

日 時 令和 8 年 1 月 1 9 日（月） 午後 2 時～午後 4 時

内 容 セシオン杉並（杉並区立社会教育センター及び高円寺地域区民センター複合施設）視察

まとめ

昭和26年に川崎市社会教育委員条例が施行されて以降、社会教育委員は各立場においてその知識や経験をもって活動し、地域の課題を自らの課題として捉え、教育委員会への積極的な意見具申や建議を行うなど、川崎市の社会教育の進展に貢献してきました。

近年の会議の中で、「社会教育委員会議の活動をいかに教育施策に反映させるか」ということが繰り返し議論されてきたことを受け、令和6・7年度の活動では、変化の激しい時代の中で、教育委員会の主要課題も時々刻々と変化していくことから、市政や教育行政の動向を捉え、実効性・適時性のある議論を進めることを課題とし、会議全体を見通せるように年間の会議スケジュールを立て、議題を確認しながら、活動を行ってまいりました。今期も教育委員会との連携を推進し、適時性や実効性に留意した提言等を行うことができるよう努め、今後の生涯学習社会の実現に向け、私たち社会教育委員の活動が、より良い教育施策展開に結びつくよう努めてきました。

本報告書は、教育委員会の審議会として、社会教育に関し教育委員会に助言を行うため、どのような活動を行ってきたのかをまとめ、私たち自身が活動を振り返ると共に、その内容を教育委員会に報告することで、着実に活動の充実を図ることを目的としています。

今期の社会教育委員会議では、主に三つのテーマについて審議しました。

一つ目は、「次期『かわさき教育プラン』策定に向けて」です。「第2次川崎市教育振興基本計画 かわさき教育プラン」は、平成27年度から概ね10年間を対象としており、令和7年度でその計画期間を終えることから、教育委員会事務局では、令和8年度から新たに始まる「かわさき教育プラン」の策定に向けて検討が進められています。社会教育委員会議では、令和6年度第2回から第3回の定例会において議論を行いました。第3回定例会では、「次の10年間に川崎がどのような教育を目指すのか」という基本理念・基本目標に関して、検討の参考となる意見を届けるために、グループに分かれてワークショップ形式で意見を出し合い、各グループの意見を全体で共有しました。意見は次の大きく四つに集約し、教育委員会事務局に提出することができました。

- ① ウェルビーイングや自己肯定感を高める教育を推進する
- ② 誰一人取り残さない教育を推進する
- ③ 元気で持続的なコミュニティを創出する
- ④ 人生100年時代を支える社会的基盤を整備する

また、令和6年度第6回定例会では、次期「かわさき教育プラン」策定に向けたアンケート結果等について、児童生徒、保護者、教職員、社会教育関係団体などに行ったアンケートの結果や、多様な団体で実施したワークショップで出た意見などから、今後、川崎市が目指す「かわさき教育プラン」の基本理念・基本目標の考え方についても報告いただきました。

令和7年度は、令和6年度からの継続案件として所管課から検討状況の報告をもらい、

その際、次期「かわさき教育プラン」での生涯学習に関する部分について、社会教育という言葉を大切にしていきたいとの意見がありました。また、大人の学びや地域での学び、多文化共生や人権尊重の視点を明確に位置づける必要があることを指摘しました。あわせて、AI の活用やデジタル時代に即した学習支援のあり方など、新たな環境への対応も必要との意見がありました。

二つ目は、「家庭教育支援の取組について」です。教育委員会では、令和8年度の「かわさき教育プラン」策定にあたり、家庭教育支援に関する現状の地域や市民ニーズを捉え、効果的な家庭教育推進の取組について検討が進められていました。社会教育委員会議では、令和6年度第5回から第6回の定例会において議論を行い、社会教育委員それぞれの立場と知見から、意見書なども用いながら意見を交わしました。委員からは、子育ての現状、教育現場や地域の中で見られる保護者や子どもたちの様子、家庭教育支援に関わる取組やそこでの諸課題についての意見、さらには今後に向けての提案などがありました。社会教育委員会議で出された意見は、教育委員会において、今後の具体的な取組を検討する際の貴重な資料になるものと考えています。

三つ目は、「市民館・図書館の指定管理者制度導入について」です。市民館・図書館への指定管理者制度導入に向けて、令和6年度中に行われた条例の一部改正（多摩市民館、麻生市民館、岡上分館に関する市民館条例の改正・麻生図書館及び柿生分館に関する図書館条例の改正）及び、令和7年度に指定管理者制度が導入される中原市民館、高津市民館、橘分館の指定管理者決定に関する報告や、施設の移転や改修工事に向けた取組の進捗状況など、教育委員会事務局から報告を受け、社会教育委員の立場から質問や意見交換を行いました。

令和7年度は第2回定例会において、指定管理者制度が導入された中原市民館、高津市民館、橘分館から指定管理事業者を招き、事業方針や取組の報告が行われました。今後も順次指定管理者制度が導入される施設の進捗や、指定管理者制度が導入された後の施設の管理・運営、事業の実施状況などについても適宜報告いただき、市域の社会教育を振興するという観点から、これらの施設の管理運営が適切なものとなるよう、意見を届けていきたいと思えます。

また、例年の取組ではありますが、「各市民館における市民自主学級・市民自主企画事業の審査と社会教育関係団体への補助金交付に対する提言」を行いました。市民自主学級・市民自主企画事業の審査では、市民や団体から提案された事業内容を確認するだけでなく、掲げられた目標や課題解決の取組を市民館がどのように支えていくと良いかなど、次年度の実施に向けた意見などにも留意しながら審査を行いました。また、社会教育関係団体への補助金交付に関しては、市の団体所管部署から説明を受けるだけでなく、当該団体から推薦されている委員など、団体の実状等を把握されている委員から意見を伺うなどしながら、活動の実態と財政的な支援とが効果的に結びついているか、また、財政的支援とともに行政による団体に対する不当な統制的支配や事業干渉が行われていないかなど、適正な補助金交付に向けた確認を丁寧に行うことができたと思えます。

社会教育委員会議におきましては、次年度も継続した取組として教育委員会との連携を推進し、今後の生涯学習社会の実現に向け、よりよい教育施策展開に結びつくよう努めていきたいと考えています。

社会教育委員会議におきましては、この2年間で協議してきた事柄について引き続き注視していくとともに、次期も継続した取組として教育委員会との連携を推進し、必要な提言等を行うことができるよう努め、今後の生涯学習社会の実現に向け、私たち社会教育委員の活動が、より良い教育施策展開に結びつくよう努めていきたいと考えております。

令和6年度社会教育委員

選出 区分	氏名	役職名
市内 校長会	イガラシ サトシ 五十嵐 聡	小学校校長会 (宮前小学校 校長)
	ヨシムラ ナオキ 吉 村 尚 記	中学校校長会 (御幸中学校 校長)
	オオカワ カズユキ 大 川 一 幸	高等学校校長会 (橘高等学校 校長)
市内 社会教育関係団体推薦	ハセガワ カズオ 長谷川 一雄	川崎市 PTA 連絡協議会 副会長 (麻生区 PTA 協議会 副会長)
	イシムラ タクヤ 石 村 卓 也	川崎地域連合 副議長 (全市)
	シモダ リョウイチ 下 田 良 一	川崎市総合文化団体連絡会 理事
	サイトウ アキユキ 齋 藤 昭 之	公益財団法人川崎市スポーツ協会 専務理事
	カワノ カズコ 河 野 和 子	川崎市地域女性連絡協議会 理事
	コイヌマ タケオ 濃 沼 健 夫	川崎市全町内会連合会 副会長
	サホダ トモコ 佐保田 ともこ	川崎市幼稚園協会 理事 (ひがしすげ幼稚園 園長)
	オオツ ヒロユキ 大 津 博 之	川崎市青少年育成連盟 理事長 (川崎市子ども会連盟 連盟長)
	タカモリ ヤスヒロ 高 森 康 広	川崎市地域教育会議行政区議長会 (多摩区地域教育会議 議長)
市民 委員	イグチ カホ 井 口 香 穂	市民公募
	ヤマキ ヨシノリ 八 巻 義 徳	市民公募
家庭 教育	アンザイ マキコ 安 西 巻 子	こども食堂 まきまきキッチン 代表
	カワムラ マリコ 河 村 麻莉子	NPO 法人子育て支えあいネットワーク満
学識 経験者	ササイ ヒロミ 笹 井 宏 益	玉川大学学術研究所高等教育開発センター 特任教授
	タンマ ヤスヒト 丹 間 康 仁	筑波大学人間系 准教授
	ナガオカ チズコ 長 岡 智寿子	田園調布学園大学 人間科学部 准教授
	ワダ ユウ 和 田 悠	立教大学 文学部 教授

令和7年度社会教育委員

選出 区分	氏名	役職名
市内 校長会	イガラシ サトシ 五十嵐 聡	小学校校長会 (宮前小学校 校長)
	アキヤマ コウシ 秋 山 香 志	中学校校長会 (生田中学校 校長)
	オオカワ カズユキ 大 川 一 幸	高等学校校長会 (橘高等学校 校長)
市内 社会教育関係団体推薦	ハセガワ カズオ 長谷川 一雄	川崎市 PTA 連絡協議会 副会長 (麻生区 PTA 協議会 副会長)
	イシムラ タクヤ 石 村 卓 也	川崎地域連合 副議長 (全市)
	シモダ リョウイチ 下 田 良 一	川崎市総合文化団体連絡会 理事
	タンノ ノリカズ 丹 野 典 和	公益財団法人川崎市スポーツ協会 専務理事
	カワノ カズコ 河 野 和 子	川崎市地域女性連絡協議会 理事
	コイヌマ タケオ 濃 沼 健 夫	川崎市全町内会連合会 副会長
	サホダ トモコ 佐保田 ともこ	川崎市幼稚園協会 理事 (ひがしすげ幼稚園 園長)
	オオツ ヒロユキ 大 津 博 之	川崎市青少年育成連盟 理事長 (川崎市子ども会連盟 連盟長)
	タカモリ ヤスヒロ 高 森 康 広	川崎市地域教育会議行政区議長会 (多摩区地域教育会議 議長)
市民 委員	イグチ カホ 井 口 香 穂	市民公募
	ヤマキ ヨシノリ 八 巻 義 徳	市民公募
家庭 教育	アンザイ マキコ 安 西 巻 子	こども食堂 まきまきキッチン 代表
	カワムラ マリコ 河 村 麻莉子	NPO 法人子育て支えあいネットワーク満
学識 経験者	ササイ ヒロミ 笹 井 宏 益	玉川大学学術研究所高等教育開発センター 特任教授
	タンマ ヤスヒト 丹 間 康 仁	筑波大学人間系 准教授
	ナガオカ チズコ 長 岡 智寿子	田園調布学園大学 人間科学部 准教授
	ワダ ユウ 和 田 悠	立教大学 文学部 教授

令和7年度川崎市社会教育委員会議専門部会 実施状況

	専門部会	第1回		第2回		第3回		第4回	
		日にち	報告書	日にち	報告書	日にち	報告書	日にち	報告書
1	教育文化会館	6月24日	○	9月9日	○	12月16日	○	2月15日	○
2	幸市民館	6月23日	○	10月7日	○	12月19日	○	2月15日	○
3	中原市民館	6月23日	○	10月3日	○				
4	高津市民館	7月2日	○	10月24日	○				
5	宮前市民館	6月25日	○	9月24日	○	12月9日	○	2月15日	○
6	多摩市民館	6月5日	○	9月9日	○	12月12日	○	2月22日	○
7	麻生市民館	5月21日	○	8月27日	○				
8	有馬・野川生涯学習支援施設	7月17日	○	11月6日	○				
9	図書館	7月8日	○	10月7日	○	12月12日	○	2月27日	○
10	日本民家園	5月25日	○	8月3日	○	12月14日	○		
11	青少年科学館	7月9日	○	11月5日	○	12月5日	○		
12	青少年教育施設	11月26日	○	2月13日	○				

○・・・提出済

・・・報告済

専門部会審議報告書

部 会 名	令和 7 年度第 4 回 川崎市社会教育委員会議 教育文化会館専門部会
開催日時	令和 8 年 2 月 15 日（日）午後 1 時～午後 4 時
場 所	教育文化会館 第 1 学習室
出 席 者	＜委員＞山澤委員（部会長）、安田委員、青木委員、野口委員、竹内委員、星委員 ＜事務局＞小島館長、北村分館長、平井分館長、石渡担当係長、大久保係長、 高橋主任（記録）
議事項目	(1) 令和 8 年度教育文化会館・大師分館・田島分館市民自主学級・市民自主企画事業選考会（非公開） (2) 選考審査結果について（非公開） (3) 教育文化会館・大師分館・田島分館の社会教育振興事業について（公開） (4) 協議テーマについて（公開）

（小島館長）来年度の第 1 回教育文化会館専門部会でテーマを協議する中で参考とさせていただきます。

その他

傍聴者：0 名

決定・確認事項

- (1) 選考審査結果について
大師分館（諾 1 件、否 0 件）田島分館（諾 1 件、否 0 件）、教育文化会館（諾 2 件、否 0 件）
- (2) 教育文化会館・大師分館・田島分館の社会教育振興事業について
大久保係長、北村分館長、平井分館長より各事業について説明。
- (3) 協議テーマについての意見交換

主な意見

- ・来年度の協議テーマについての意見交換
 - （竹内委員）自分たちの住む街を知るために地名資料室を活用して地域を分けて地名の由来を学ぶ講座はどうか。外国につながる子どもたちの中には学習言語に悩んでいる小学生も少なくないと聞いているので学習言語の学習支援を行ってはどうか。
 - （安田委員）筋力アップ講座に参加したがとても有意義であったので身体を動かす講座の拡充も良いと考える。またシニア世代向けに AI など世の中の動きについていくための講座や戦後を考える意味で川崎市内の戦跡等を訪れるのはどうか。
 - （山澤部会長）社交ダンスの講座に参加したが頭と身体を使うので難しさと楽しさを感じた。シニア世代には少し難しい方が刺激になってとても良いと感じた。歴史探索をする中でチャット GTP を組み合わせる等、頭を使い身体も動かせるような講座はどうか。
 - （青木委員）多文化共生の観点から地域で受け入れるためのノウハウの学習やサポートをするためのボランティア講座はどうか。
 - （星委員）高齢者福祉等について事前に学習していればいざという時に慌てずに済むもので親子でエンディングノートを作成する等の講座はどうか。また教えたい人と学びたい人を登録して講師に市民の力を活用して学習の場を作るような事ができればお互いに有益ではないか。

専門部会審議報告書

部 会 名	第3回 川崎市社会教育委員会議 幸市民館専門部会
開催日時	令和7年12月19日（金） 午後2時～午後4時
場 所	幸市民館第1会議室
出 席 者	＜委員＞石渡委員、梅原委員、大塚委員、片岡委員、夏井委員、松井委員 （欠席：滝口委員、小泉委員） ＜事務局＞加藤幸市民館長、藤田日吉分館長、松下社会教育振興係担当係長、 能登管理担当係長
議事項目	(1) 摘録の確認について (2) 管理運営実施状況等について (3) 社会教育振興事業について ア 幸市民館社会教育振興事業 イ 日吉分館社会教育振興事業 (4) 審議事項について

決定・確認事項
(1) 摘録の確認について 一部修正して承認 (2) 管理運営実施状況等について ・日常管理及び今後の補修工事等について報告 (3) 社会教育振興事業について 実施状況及び今後の予定について報告 (4) 審議事項について 委員による報告書（案）の体裁・表記等再確認、内容についての話し合いが行われた。
主な意見
(1) 社会教育振興事業について ・夜間識字・夜間講座への中学生参加条件（保護者同伴必須/単独可）について知りたい。 ・市民館コミュニティ推進事業について改修中の事業継続の有無について知りたい。 ・地域課題事業等などの保険の有無と参加者向けの案内について (2) 審議事項について ・内容・表現の修正、表記の統一について話し合いが行われた。 ・「専門部会委員名簿」を全委員の氏名を五十音順で掲載し、作成協力者の氏名を「報告書作成者」として追記することが決定した。 ・修正版を共有後、フィードバックを依頼し、次回迄にほぼ完成形とすることを確認した。
その他
傍聴者：なし

専門部会審議報告書

部 会 名	第4回 川崎市社会教育委員会議 幸市民館専門部会
開催日時	令和8年2月15日（日） 午後1時～午後4時
場 所	幸市民館第1会議室
出 席 者	＜委員＞梅原委員、大塚委員、片岡委員、夏井委員、松井委員、滝口委員 （欠席：石渡委員、小泉委員） ＜事務局＞加藤幸市民館長、藤田日吉分館長、松下社会教育振興係担当係長、 能登管理担当係長、細井主任、高柳主任、谷口主任、 教育委員会事務局生涯学習推進課
議事項目	(1) 市民自主学級・市民自主企画事業の選考について (2) 摘録の確認について (3) 管理運営実施状況等について 幸市民館・図書館改修工事について (4) 社会教育振興事業について (5) 調査・審議事項について

決定・確認事項
(1) 提案3団体によるプレゼンの後、委員からの質疑応答、採点を実施。終了後、意見交換がなされた。 (2)～(4)の項目について……事務局等から報告を行い、各委員から質問や意見がなされた。 (3)「幸市民館・図書館改修工事について」教育委員会生涯学習推進課より報告があった。 (4)社会教育振興事業についての質問はなし。 (5)調査・審議事項について、報告書の最終確認を行った。
主な意見
(1)R8 の市民自主企画事業実施に向け、年度後半実施の会場確保及び会場使用料が提案者の負担にならないよう、市民館が調整して実施出来るようにして欲しい。 受益者負担の費用についても物価高騰も配慮し、設定するように。 (2)「幸市民館・図書館改修工事について」各委員からの要望を伝えた。 (3)社会教育振興事業について……これからの年度末までの事業について、参加人数の確定は次年度の第1回専門部会で報告する。 (4)審議事項について ・報告書について本日の生涯学習推進課からの改修工事についての説明で報告書に追記・修正を行い、最終確認をした。年度末には各委員・社会教育委員会議に配布。併せてHPの掲載市民への配布用の報告書を印刷し配布することを確認。
その他
傍聴者：なし

専門部会審議報告書

部 会 名	令和7年度第4回川崎市社会教育委員会議宮前市民館専門部会
開催日時	令和7年2月15日（日） 13:00～17:00
場 所	宮前市民館 第4会議室
出席者	〈委 員〉 川西和子（部会長）、山本太三雄（副部会長）、渡辺美代子、白武初江、高久貴、檜崎光雄、宮下大志 〈事務局〉 石川館長、下間係長、徳原係長、石毛主任、篠原主任、加古主任、田浪職員、今井職員（宮前市民館） 佐藤分館長、西尾職員（菅生分館）
議事項目	1 令和8年度市民自主学級・市民自主企画事業の提案について 2 報告事項 3 協議事項 4 その他

・大人同士の協力関係ができてよかった。 ・館内装飾づくりに、多くの参加者が集まった。館内に見本を置いてあったのが良かったのではないかな。 ・ロビーカフェをベースにして館内装飾のキットを置いておき、いつでも参加できる場を作ってはどうか。
その他
傍聴者：なし

決定・確認事項
1 令和8年度市民自主学級・市民自主企画事業の提案について 宮前市民館及び菅生分館に対して応募のあった企画提案について、提案者からのプレゼンテーション及び質疑応答を行い、令和8年度市民自主学級・市民自主企画事業の選考を実施した。 2 報告事項 （1）宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業について 社会教育振興事業の内容について、資料に基づき事務局から説明を行った。 3 協議事項 （1）研究課題について （2）令和8年度宮前市民館・菅生分館の課題別連携事業について 資料に基づき事務局から説明を行い、承認された。
主な意見
2 報告事項 （1） 宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業について ・孤立防止の事業は、高齢者だけでなく、子育ての講座なども近くに知り合いがいない親子には役に立つものである。 ・子どもの孤立・ひきこもり防止対策として学校以外の居場所が必要である。 ・男性の退職者向けの講座が少ないように思われる。 ・人材育成の対象は防災・防犯よりも介護等を対象としたらどうか。 ・講座に参加できなかった方のために、録画やネットで見られるようにしたらどうか。 3 協議事項 （1） 今期の研究課題について ・館内装飾事業のサポーター養成について、地域に残って活動していくという循環事例を作りたい。

専門部会審議報告書

部 会 名	令和7年度第4回 多摩市民館専門部会
開催日時	令和8年2月22日（日）13時30分～15時30分
場 所	多摩市民館第1会議室
出席者	＜委員＞高梨宏子委員（部会長）、山本和恵委員（副部会長）、栃木達也委員、伊藤千津子委員、三品勉委員、澤典子委員 ＜事務局＞坂尾康章館長、篠原和則課長補佐、星野弘明担当係長
議事項目	(1) 市民自主学級・市民自主企画事業提案会・選考会（非公開） (2) 多摩市民館における各種事業について (3) 調査・審議事項について

決定・確認事項

- (1) 市民自主学級・自主企画事業提案会・選考会
市民自主企画事業1事業について企画提案が行われ、選考会の結果、実施対象として選考された。
- (2) 多摩市民館における各種事業について
施設の管理運営に係る現況、令和7年度社会教育振興事業の実施状況を事務局から説明。
- (3) 調査・審議事項について
今期の調査・審議事項について取りまとめた内容を確認し、了承された。

主な意見

- (1) 調査・審議事項のまとめにある、「学びを通して、人・つながり・地域づくりを支える生涯学習の拠点を目指して」という点は共感できる。ただ講義を聞いて満足するということではなく、集まった人たちと意見交換をしてつながりを生むこと、さらにその先に、こういった活動をしてみようとながっていくことが理想的である。
- (2) 今回の調査・審議のまとめでは、つながりが生まれることを重視して記載している。つながりには、人と人、団体と団体など色々あるが、ただ人が集まるだけでは実はつながりは生まれないのではないかと思っている。市民館では「学び」があるから、次も何かやってみようとか、先につながることが生まれてくる。一人の人の中で、その人を次の学びにつないでいくということもあるのだと思う。
- (3) 他区のナーシングセンターで行われたブレ・パパママ向けの集いに参加し、子どもが生まれた後にサークルを作って活動したことがある。子育ての色々な場面でその区に行っていたが、多摩区でも、生まれる前から皆さんで集まって、生まれた後もことあるごとに集まれるような場が、市民館で生まれると良いと思った。

その他

傍聴者：なし

専門部会審議報告書

部 会 名	令和7年度第3回 図書館専門部会
開催日時	令和7年12月12日（金）午前10時～12時
場 所	中原図書館 多目的室
出席者	＜委員＞今野委員（部会長）、金井委員（副部会長）、治田委員、渡部委員、千委員、渡邊委員、但野委員 ＜事務局＞中原図書館 古俣館長、能塚庶務係長・課長補佐、堤利用サービス係長・課長補佐、笛木資料調査係長・課長補佐 浅尾図書館システムネットワーク担当係長、比良主任 （出席：川崎図書館 浅野館長、幸図書館 土屋館長、高津図書館 澁谷館長、宮前図書館 舟田館長、多摩図書館 小林館長、麻生図書館 小嶋館長）
議事項目	1 報告事項 (1) 川崎市立図書館事業等について (2) 生涯学習推進課から 「読書のまち・かわさき」の今後の方向性について 麻生図書館、柿生分館の指定管理者の指定について 2 協議事項 (1) 研究活動報告書作成に向けたまとめ

決定・確認事項

- (1) 次回の協議について
・研究活動報告書（案）について、副題である「量から質への図書館サービスの転換」の視点をふまえ、まとめの協議を行う。

主な意見

- 「研究活動報告書」作成に向けた意見交換を行った。
- (1) 読書の“質”というものは、例えば読書の楽しさをきっかけに、そこから本を深く読んでいくことで、個々の満足度や質に繋がっていくのではないかな。
 - (2) 「図書館ツアー」という取組があり、決められた順番に沿って館内を回り、最後にゴールするという内容だが、その過程で子どもは実際に小さなミッションをクリアしながら様々な本に触れるようになっている。こうしたアイデアが本へ親しむきっかけになると思っていて、学校であればそうした活動を取り入れる余地があり、工夫次第でさまざまな展開が可能だと感じている。
 - (3) 図書館でも行われているような「1日図書委員体験」といった活動もあり、こうした例を示しながら、子ども達が本に親しむための工夫を共有していくことが大切だ。
 - (4) ライフステージごとに図書館を利用する“きっかけ”を設けるとよい。例として、小学校入学時に図書館カードを配布する取組があり、一部の学校ですすでに導入済で、このような取組を広げていければと思う。
 - (5) 「量から質へ」という視点は、量を否定するものではない。サービスの質を高めることで、結果として入館者数や資料利用（貸出・予約）の増加につながる可能性がある。質的向上と量的拡大は対立する概念ではなく、相互に補完し合う関係にあるのではないかな。

その他

傍聴者：0名

専門部会審議報告書

部 会 名	令和7年度第4回 図書館専門部会
開催日時	令和8年2月27日（金）午前10時～12時
場 所	中原図書館 多目的室
出席者	＜委員＞今野委員（部会長）、金井委員（副部会長）、治田委員、板橋（美）委員、岩井沢委員、板橋（洋）委員、渡部委員、千委員、渡邊委員、但野委員 ＜事務局＞中原図書館 古俣館長、能塚庶務係長・課長補佐、堤利用サービス係長・課長補佐、笛木資料調査係長・課長補佐 浅尾図書館システムネットワーク担当係長、比良主任 （出席：川崎図書館 浅野館長、幸図書館 土屋館長、高津図書館 澁谷館長、宮前図書館 舟田館長、多摩図書館 小林館長、麻生図書館 小嶋館長）
議事項目	1 報告事項 （1）川崎市立図書館事業等について 2 協議事項 （1）研究活動報告書作成に向けたまとめ

決定・確認事項

- （1）研究活動報告書（案）について、本日の最終の対面協議（主に「量から質への図書館サービスの転換」の章）にて出た委員意見を反映させた修正版を今後確認頂き、その後部会長、副部会長の最終確認を経て年度内に発行とする。

主な意見

- 「研究活動報告書」完成に向けた意見交換を行った。
- （1）質的サービスの充実、図書館の仕組みの再構築、更には図書館という居場所の新しい役割検討にも繋がると思われる。図書館が一方通行でサービス提供する従来のやり方から利用者参加型で共創していく仕組みも検討していくことを、「まとめ」の箇所に追記した。
- （2）加えて、学校間、地域との情報交換や、公共図書館と学校図書館の情報交換を徹底し、予算・リソースの効率最大化を図って頂きたい旨を追記した。
- （3）図書館という活動場所を増やしてほしいという旨を追記したいという意見については、「量から質へ」の視点をふまえると、質的サービスの視点に立つて書き方を工夫しないと、そもそもの協議テーマとの齟齬が生じてしまうのではないか。
- （4）毎年研究活動報告書を作成し、図書館でのサービス検討に活用しているが、やはり予算やリソースがなければ取組を進められない。今回のように予算面をしっかりと記載していただいた点は、とても良いものとして賛同する。
- （5）市直営館と指定管理館には役割分担があるものの、どちらも図書館運営という共通の目的を持っている。双方が協力し、ときには競争、また協働することで新しい価値が生まれる可能性があり、その相乗効果によって運営の質が高まることを期待している。
- （6）図書館が持つ資料等の情報は、その重要な武器であり、そこに他部局の専門職の知見を加えることで、より高い付加価値を生み出せるのではないか。誰でも利用でき、常に開いている図書館という場を活かし、専門職と連携して情報提供の質を高めることで、市民の生活に役立つ情報発信が可能になると考える。

その他

傍聴者：0名

専門部会審議報告書

部 会 名	令和7年度第2回青少年教育施設専門部会
開催日時	令和8年2月13日（金）10:00～12:00
場 所	川崎市子ども夢パーク
出席者	＜委員＞番匠部会長、境副部会長、大津委員、川腰委員、松田委員、元木委員、太田委員、原田委員 ＜事務局＞ 教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課：課長 山口 弘 施設整備担当課長 本波 直人 教育委員会事務局学校教育部指導課：自然教室担当課長 北村 美幸 こども未来局青少年支援室：施設整備・企画担当係長 筒井 瑠南 施設整備・企画担当職員 石山 智之 青少年育成・子どもの権利担当課長 湯川 緑 ＜指定管理者＞ 青少年の家 佐藤所長、斎藤副所長 八ヶ岳少年自然の家 三井所長、細川課長 子ども夢パーク 友兼所長、千葉副所長 中川職員
議事項目	（1） 令和7年度事業進捗状況について （2） 今後の自然教室及び八ヶ岳少年自然の家の方向性について （3） その他

決定・確認事項

- （1） 今後の自然教室及び八ヶ岳少年自然の家の方向性について報告・質疑応答
（2） 令和7年度事業進捗状況及び令和8年度事業計画案について報告・質疑応答

主な意見

- 議事（1）
（自然教室及び八ヶ岳少年自然の家について）
・もっと早い段階で、パブリックコメントを集めることはできなかったのか。
・八ヶ岳の存続について、教育委員会より丁寧な説明もあり、検討の結果、諦めざるを得ないという結果になったのではないかと。
・今後、八ヶ岳がどのようにしていくのか見守っていきたい。
- 議事（2）
（令和7年度事業進捗状況及び令和8年度事業計画案について）
（夢パーク）
・利用者数は利用者から指示されている指標になると思うが、施設の規模や職員の数から見れば、適切な利用者数というものもあると思うので、あまり数字に縛られないで欲しい。
・消防庁より、指定された場所での裸火は禁止されているので、火の取扱いについては、大人が管理できる範囲でやってほしい。

(ハケ岳) ・別施設のイベントで体験したのこぎりを使った丸太切りは、大人にとっては単純な作業だが、小学校低学年までの子どもたちにとっては、これまでやったことのない体験で非常に楽しく取り組みれていた。ハケ岳でやっているなら、他の施設にも共有してほしい。 ・HP やブログ、SNS での発信など、様々な媒体で発信している一方で、それぞれの掲載内容が同じになっており、各媒体の役割がはっきりしなくなっているように思う。
その他
傍聴者：なし